

令和元年度 こども家庭課 主たる事業（実績見込み）

1 保育所等の整備等

子育て支援の一環として、令和元年 10 月からの幼児教育保育無償化及び給食費無償化に合わせ、公立の保育所・幼稚園内において一般廃棄物収集運搬業務を開始したことを受け、それまで実施していた保護者による使用済みオムツの持ち帰りを廃止し、施設で回収することとしました。これにより、保護者の負担と衛生面の不安を取り除きました。

また、公立の保育所・児童館・放課後児童クラブ・幼稚園（全 14 施設）に気象庁からの第一報を 1 秒以内に端末に配信される高度利用緊急地震速報装置の導入を行いました。

2 子育て支援センター

浜島・志摩・磯部子育て支援センターでの事業実施及び子育て支援センターわくわくの森へ補助しました。

3 児童手当・児童扶養手当

児童手当受給者

（定時支払：6 月 2,315 名、10 月 2,317 名、2 月 2,360 名）、

児童扶養手当受給者

（定時支払：4 月 446 名、8 月 416 名、11 月 424 名、1 月 422 名）に手当を支給しました。また、転出者等には、随時支払しました。

4 児童館・放課後児童クラブの整備等

鵜方児童館、東海・神明・浜島・大王・志摩・磯部放課後児童クラブの 7 ケ所でそれぞれ事業を実施及び民営の児童クラブ鵜方小学校前、しまの杜放課後児童クラブへ補助しました。

5 保育所希望の認定等

待機児童が出ないように、また保護者の希望に添えるように保育所入所の利用調整を行いました。また、保育所運営の充実を図るため、乳児の受け入れ施設の拡充や公立・私立含め市内全ての保育所で午後 7 時までの長時間保育を実施しています。

6 幼稚園希望の認定等

保育所・幼稚園の窓口一本化を目的に、平成 29 年度から、教育委員会の

補助執行として、こども家庭課において、幼稚園の入園・預かり保育の利用決定、施設管理等の幼稚園業務全般を行なっています。

また、平成31年度からは和具幼稚園、鵜方幼稚園で18～19時の預かり保育の実施など、保護者にとって利用しやすいよう預かり保育の見直しを行ないました。

7 相談支援業務

児童家庭相談援助、発達障がい児支援、母子・父子・寡婦自立支援、女性相談（婦人保護）に関する相談業務を行いました。

○相談受付件数（令和2年1月末現在）

児童家庭相談援助	131 件
母子・父子・寡婦自立支援	19 件
女性相談（婦人保護）	52 人

○発達障がい児支援対応回数（令和2年1月末現在）

在籍機関支援	582 回
保護者等支援	450 回